

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月 16日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県碧南市白沢町1-38

氏 名 栄四郎瓦株式会社

代表取締役 樺山朋久

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0566-48-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	栄四郎瓦株式会社 本社工場
事業場の所在地	愛知県碧南市白沢町1-38
計画期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	21 : 窯業・土石製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 : 308,787万円/年
③従業員数	49人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>プレス工程：廃油→再生処理業者に委託して燃料として再資源化</p> <p>選別工程：がれき類→再生処理業者に委託して選別し再生砕石として再資源化、その他は埋立処分</p> <p>：陶磁器クズ→再生処理業者に委託してシャモットとして再資源化</p> <p>：混合物→再生処理業者に委託して選別し、燃料として再資源化、その他は埋立処分</p> <p>出荷：木くず→再生処理業者に委託して燃料・パルプとして再資源化</p> <p>：廃プラスチック類→再生処理業者に委託して選別し、原料として再資源化、その他は埋立処分</p>
-----------------	--

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図)</p> <p>本社工場</p> <p>工場長 (産業廃棄物総括責任者)</p> <p>↓</p> <p>製造部課長 (産業廃棄物処理責任者)</p>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和元年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り	t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切れ不良対策として金型の調整を行う ・色不良対策としてガス量の調整を行う 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	

	排出量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ・切れ不良が多いため、乾燥を調整する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 陶磁器類・廃プラスチック類・がれき類・廃油・木くず・混合物に分けて分別し保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t

	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	（これまでに実施した取組） 歩留率予算達成のための諸政策（方針管理実施報告書による）		

（第5面）

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処 理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	別紙のとおり	t

		(今後実施する予定の取組) 歩留率予算達成のための諸政策（方針管理実施報告書による）
※事務処理欄		

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

本社工場

(単位： t／年)

項目		産業廃棄物の種類 (名称)							合計
		陶磁器くず	廃プラスチック類	がれき類	鉱さい	廃油	木くず	はきごみ	
① 現 状	令和元年度の産業廃棄物発生量 (実績)	3,390	22	92	0	3	17	2	3,526
	全処理委託量	3,390	22	92	0	3	17	2	3,526
	優良認定処理業者への処理委託量								0
	再生処理業者への処理委託量	3,390	22			3	17	1	3,433
	認定熱回収業者への処理委託量								0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								0
② 計 画	令和2年度の産業廃棄物発生量 (目標)	2,845	31	113	5	1	15	3	3,013
	全処理委託量	2,845	31	113	5	1	15	3	3,013
	優良認定処理業者への処理委託量			113	5				118
	再生処理業者への処理委託量	2,845	31			1	15		2,892
	認定熱回収業者への処理委託量								0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								0

※方針管理実施計画書より平成30年度を基準年度とし令和3年度削減目標を3%とした。